

S I D R

(滋賀県感染症情報)

SHIGA Infectious Diseases Report

〈月報〉
平成 20年 5月
(第18～22週)

発行年月日 :平成20年(2008年) 6月11日
発行 行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター
電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

全国の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。また、届出により全国または滋賀県で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 20年		平成 19年		感染症 類型	疾 病 名	平成 20年		平成 19年				
		1～4月	5月	1～12月	1～4月			5月	1～12月	1～4月	5月	1～12月		
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	四類	ニパウイルス感染症	0	0	0	0			
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0		日本紅斑熱	0	2	0	9	0	98	
	痘そう	0	0	0	0		日本脳炎	0	0	0	0	0	10	
	南米出血熱 ^(*)	0	0	0	0		ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	
	ベスト	0	0	0	0		Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	
	マールブルグ病	0	0	0	0		鼻疽 ^(*)	0	0	0	0	0	0	
	ラッサ熱	0	0	0	0		ブルセラ症	0	0	0	0	0	1	
二類	急性灰白髄炎	0	1	0	0		0	ベネズエラウマ脳炎 ^(*)	0	0	0	0	0	0
	結核 ^(**)	79	7,314	29	2,685		178	20,151	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ(H5N1) ^(**)	-	-	0	0		-	-	-	-	-	-	-	-
三類	コレラ	0	16	0	1		0	12	0	2	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	88	0	20		1	2	450	0	1	0	1	12
	腸管出血性大腸菌感染症	4	311	3	233		55	4,586	0	0	0	0	0	0
	腸チフス	0	16	0	8		0	47	0	16	0	8	0	22
	パラチフス	0	12	0	3		1	27	0	12	0	3	1	42
四類	E型肝炎	0	16	0	3		1	54	0	16	0	3	1	54
	ウエストナイル熱	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	58	0	13	1	154	0	58	0	13	1	154	
	エキノコックス症	0	5	0	1	0	16	0	5	0	1	0	16	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オウム病	0	0	0	4	0	30	0	0	0	4	0	30	
	オムスク出血熱 ^(*)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	キャサナル森林病 ^(*)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Q熱	0	1	0	1	0	7	0	1	0	1	0	7	
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	コクシジオイデス症	0	0	0	1	0	3	0	0	0	1	0	3	
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	西部ウマ脳炎 ^(*)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ダニ媒介脳炎 ^(*)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	つつが虫病	0	49	0	40	0	370	0	49	0	40	0	370	
	デング熱	1	18	0	7	1	89	1	18	0	7	1	89	
	東部ウマ脳炎 ^(*)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
五類	アメーバ赤痢	2	262	1	71	15	781	2	262	1	71	15	781	
	ウイルス性肝炎	2	64	0	23	2	231	2	64	0	23	2	231	
	急性脳炎	0	73	0	10	2	216	0	73	0	10	2	216	
	クリプトスポリジウム症	0	2	0	0	0	6	0	2	0	0	0	6	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	43	0	23	4	148	0	43	0	23	4	148	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	42	0	14	1	96	1	42	0	14	1	96	
	後天性免疫不全症候群	4	445	0	128	9	1,449	4	445	0	128	9	1,449	
	ジアルジア症	1	25	0	7	1	56	1	25	0	7	1	56	
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	5	0	3	0	17	0	5	0	3	0	17	
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	梅毒	1	219	0	95	2	714	1	219	0	95	2	714	
	破傷風	1	20	0	12	0	88	1	20	0	12	0	88	
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	26	0	4	0	80	0	26	0	4	0	80		
風しん	0	146	0	44	-	-	0	146	0	44	-	-		
麻しん	5	6,681	5	2,094	-	-	5	6,681	5	2,094	-	-		

(*) :平成19年4月1日から集計 - :平成19年は定点把握対象疾患のため未集計
(**) :平成20年5月12日から集計 - :平成19年および平成20年1月～5月11日は未集計

滋賀県における全数報告 感染症の概要(5月)

< 結核 >

性別: 男性 23名、女性 6名
 類型: 患者 26名
 無症状病原体保有者 3名
 病型: 肺結核 21名
 その他の結核 8名

< 腸管出血性大腸菌感染症 >

性別: 男性 1名、女性 2名
 年齢: 20歳、25歳、55歳
 血清型・毒素型:
 O157・VT1&VT2 3名
 推定感染経路は経口感染 2名、不明 1名で、1名は生センマイ・ユッケを喫食してしました。推定感染地域は全員日本国内です。

< アメーバ赤痢 >

男性58歳
 推定感染経路は不明で、推定感染地域は日本国内です。

< 麻しん >

性別: 男性 3名、女性 2名
 年齢: 1歳、17歳、23歳、27歳、28歳
 推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 2名、不明 3名で、推定感染地域は全員日本国内です。ワクチン接種歴は 2名が無し、2名が不明、1名は1回目のみ接種です。

*1 検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分1件を含む

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のうち、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症を定点把握対象感染症といい、また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点および基幹定点に分かれています。

5月の概要

<インフルエンザ>

大津および彦根で散発的に発生していましたが、県全体としてはインフルエンザの流行は終息したと考えられます。

<小児科定点疾患>

各疾患の発生状況については疾病別定点当たり患者数のグラフに示すとおりですが、大部分の疾患で先月より増加し、特に、咽頭結膜熱(プール熱)、百日咳、手足口病 および流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)で今年の同時期より多くなっていました。

百日咳については、先月の約4倍増となり、大津からの報告が多くなっていました。第1~22週における年齢別の発生割合は下記の図のとおりです。20歳以上における発生割合(26.3%)は、昨年同時期(0%)より非常に多くなっており、全国においても同様の傾向を示しています。

感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システムによる疾患別発生状況は下記の表のとおりです。

<眼科定点疾患> <基幹定点疾患>

眼科定点疾患である流行性角結膜炎は先月より増加し、甲賀からの報告がやや多くなっていました。急性出血性結膜炎の報告はありませんでした。また、基幹定点疾患であるマイコプラズマ肺炎は先月よりやや増加し、無菌性髄膜炎、細菌性髄膜炎およびクラミジア肺炎の報告はありませんでした。

感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システムによる警報・注意報発生状況

(平成20年第18~22週)

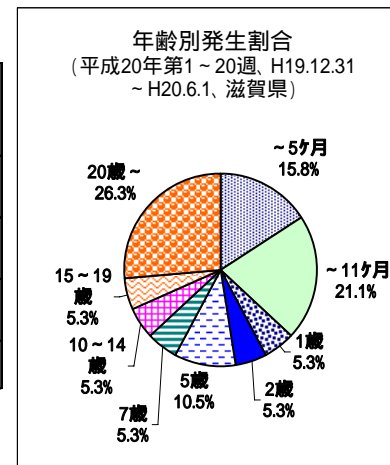
疾患名	18週 4/28 ~5/4	19週 5/5~ 5/11	20週 5/12~ 5/18	21週 5/19~5/25	22週 5/26~6/1	警報開始基準値	警報終息基準値	注意報基準値
咽頭結膜熱 保健所	高島			大津	大津	2.00	0.10	-
A群溶レン菌咽頭炎 保健所	東近江			甲賀 東近江	甲賀 東近江	4.00	2.00	-
水痘 保健所		東近江	甲賀		甲賀	7.00	4.00	4.00
流行性耳下腺炎 保健所	彦根					6.00	2.00	3.00

：警報開始基準値または警報終息基準値を超えています。

：注意報開始基準値を超えています。

-：注意報の対象外という意味です。

百日咳発生状況



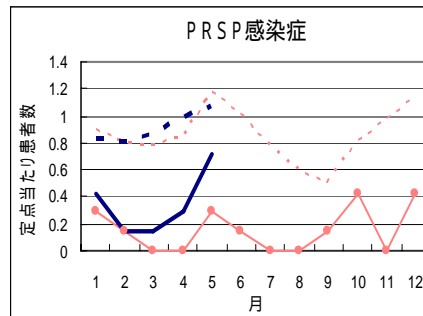
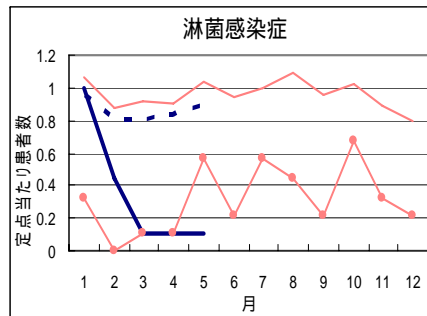
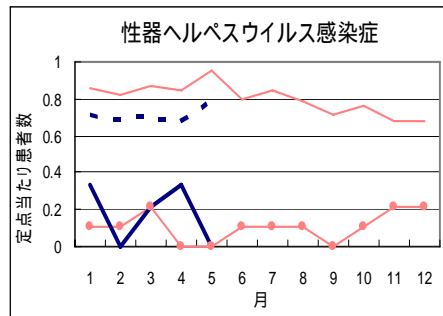
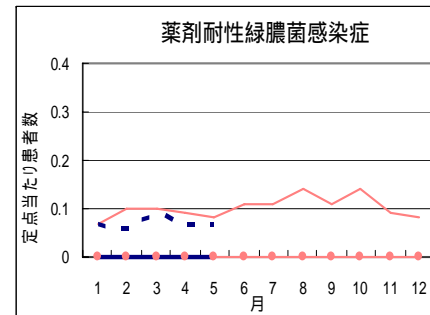
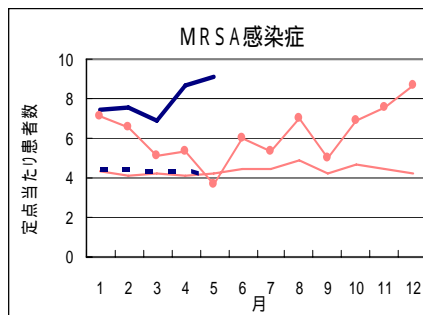
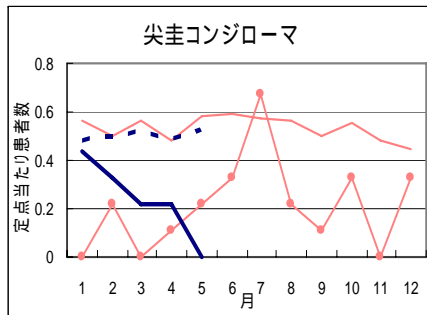
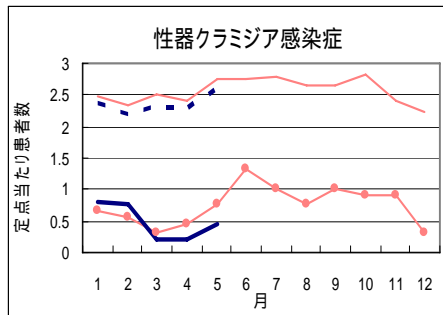
<各定点の対象疾患>

定点	疾患名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱 A群溶レン菌咽頭炎、水痘 感染性胃腸炎、手足口病 伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳 突発性発しん、ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 クラミジア肺炎(オウム病を除く)

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成20年 5月)

疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
性器クラミジア感染症	罹患数	7	7	2	2	4								22
	定点当たり	0.78	0.78	0.22	0.22	0.44								2.44
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	3	0	2	3	0								8
	定点当たり	0.33	0	0.22	0.33	0								0.88
尖圭コンジローマ	罹患数	4	3	2	2	0								11
	定点当たり	0.44	0.33	0.22	0.22	0								1.21
淋菌感染症	罹患数	9	4	1	1	1								16
	定点当たり	1.00	0.44	0.11	0.11	0.11								1.77
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	罹患数	52	53	48	61	64								278
	定点当たり	7.43	7.57	6.86	8.71	9.14								39.71
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	罹患数	3	1	1	2	5								12
	定点当たり	0.43	0.14	0.14	0.29	0.71								1.71
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0	0	0	0								0
	定点当たり	0	0	0	0	0								0

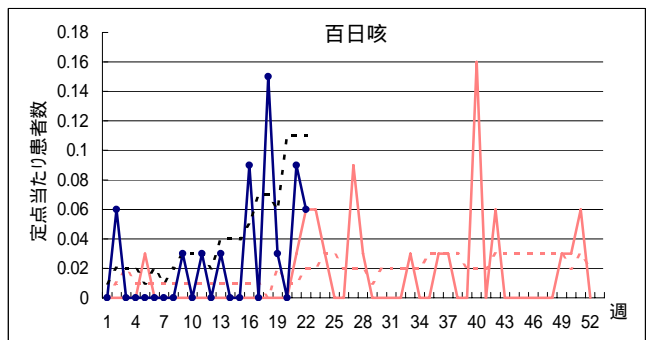
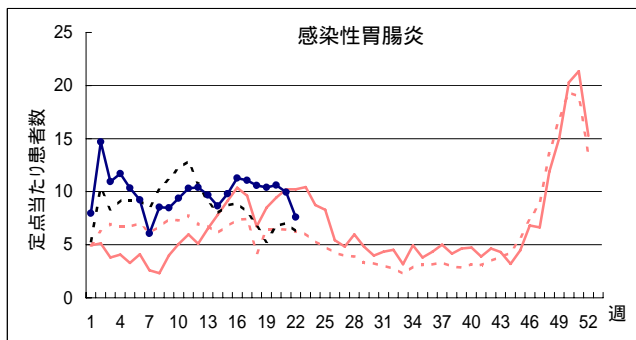
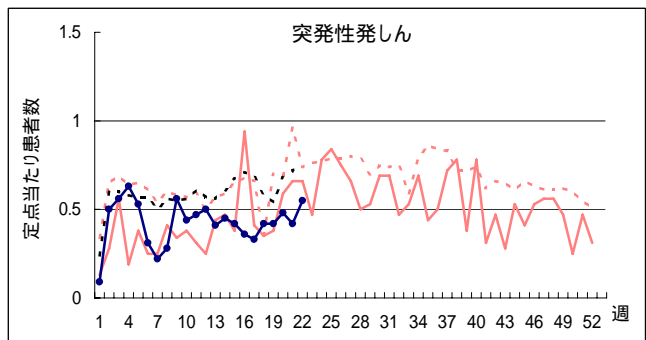
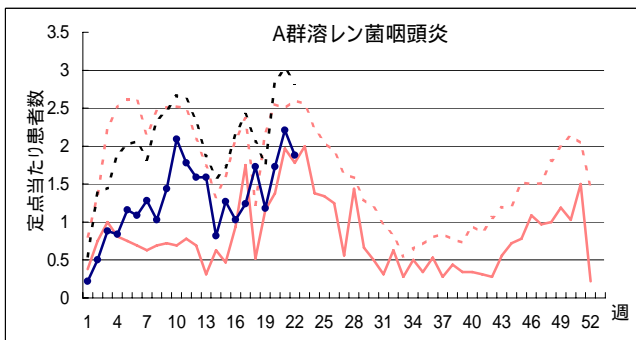
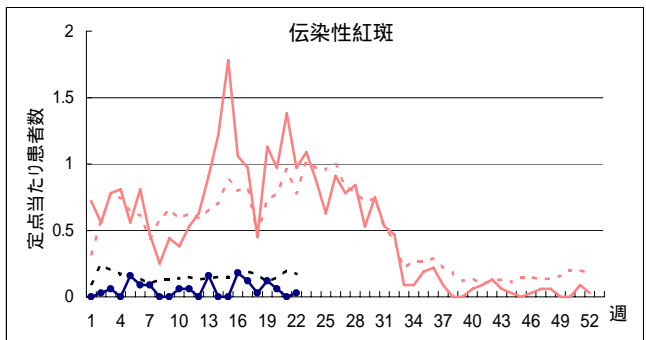
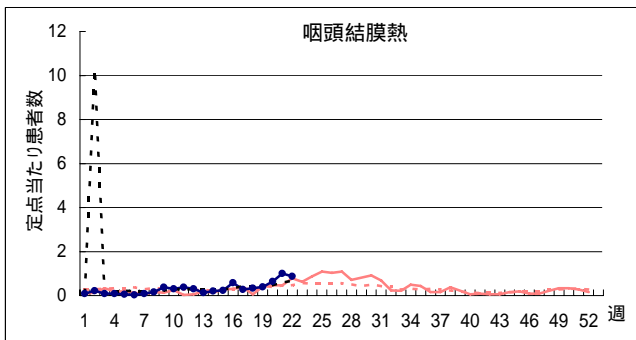
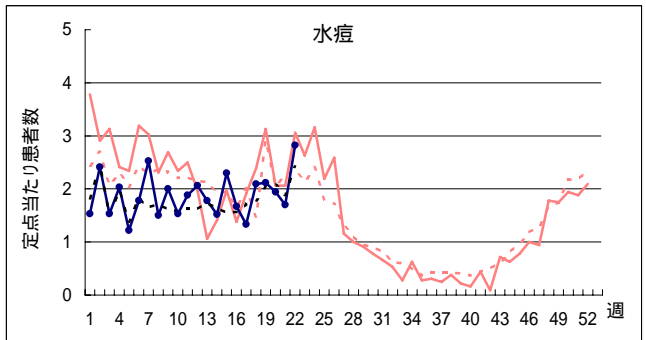
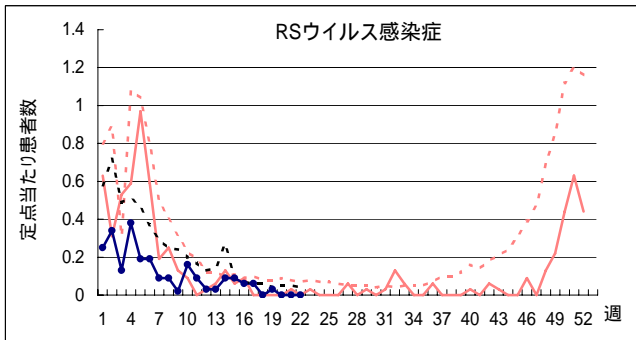
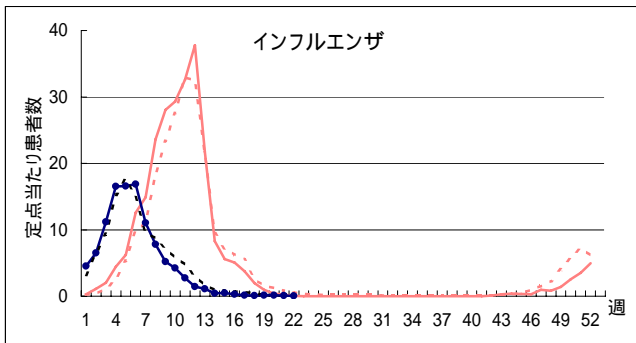


戻る

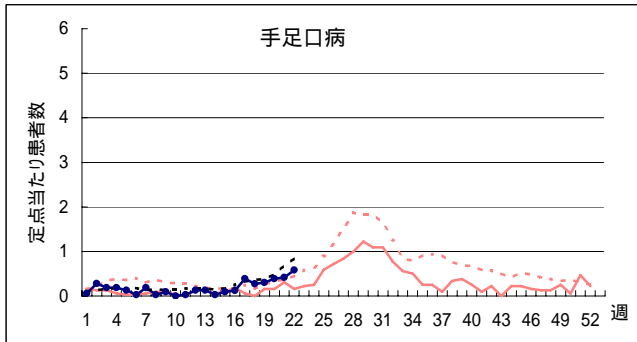
H19 { 滋賀 ● (red solid line)
 全国 ○ (red dashed line)
H20 { 滋賀 ● (blue solid line)
 全国 ○ (blue dashed line)

MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌

疾病別定点当たり患者数(平成20年第 22 週、H19.12.31 ~ H20.6.1)



疾病別定点当たり患者数(平成20年第22週、H19.12.31～H20.6.1)



H19
 滋賀 ————
 全国 - - - - -
 H20
 滋賀 ●●●●●
 全国

